

## 第 65 回政策研究大学院大学経営協議会議事要旨

- 日 時 : 平成 29 年 6 月 22 日 (木) 15:30~17:04
- 場 所 : 政策研究大学院大学 会議室 3A
- 出席者 :
  - [学外委員]  
石田委員、今井委員、嶋津委員、名取委員、長谷川委員、林(康)委員、板東委員
  - [学内委員]  
田中学長、増山理事・副学長、横道理事・副学長、小島理事、角南副学長、道下学  
長特別補佐、宇佐美監事、林(礼)監事、中野大学運営局長
- 欠席者 :
  - [学外委員]  
奥委員、林(文)委員、藪中委員
  - [学内委員]  
園部副学長、

### I. 審議事項

#### 1. 平成 28 事業年度に係る実績報告書について

資料に基づき、中野大学運営局長から、平成 28 事業年度に係る実績報告書の概要等について説明があり、これを了承した。

#### 2. 平成 28 年度決算報告について

資料に基づき、中野大学運営局長から、平成 28 年度決算について、財務諸表（損益計算書）の概要、及び奨学寄附金受入状況等の説明があり、これを了承した。

◆学外委員からの主な意見は以下のとおり。(○：学外委員、△：本学)

- ：寄附は全額を受け取った研究者が使用できるようにしているのか。または、間接経費を徴収しているのか。
- △：基本的には、組織として受け取るものについては間接経費を徴収しているが、教員個人が研究費として受け取るようなものには間接経費は徴収していない。
- ：一般的に大学の施設を使用して実施するのであれば、間接経費を徴収したほうが良いのではないか。
- △：基本的には全ての受入れに対して間接経費を徴収したいが、寄附元からの要請で間接経費を徴収しないことが条件になっている場合もあり、そのような点も考慮し、今後検討を行いたい。

#### 3. 平成 29 年度大学運営方針重点事項(案)について

資料に基づき、中野大学運営局長から平成 29 年度大学運営方針重点事項（案）について説明があり、これを了承した。

◆学外委員からの主な意見は以下のとおり。(○：学外委員、△：本学)

- ：プライベートセクターとの関係の構築について、「民間企業等との連携による教育活動の展開」とあるが、研究面も重視してはどうか。特に外国企業からの支援による共同研究の実施はまだ十分では無いのではないか。
- △：民間企業との共同研究も今後促進したい。また、プライベートセクターからの学生の受入れ、特に国際プログラムへの受入れを今後強化したいと考えている。
- ：「寄附講座、寄附研究部門の充実」については、具体的に平成 29 年度中に想定しているものがあるのか。

- △：現在新規の獲得に向けて取組みを進めているところ。
- ：政策理論面の研究、国際的なパートナーと実施している研究は実績があるようだが、自治体等地域のプレーヤーとの実証実験的な研究は推進しているか。
- △：教育プログラムで実施している例や教員個人が実施している例がある。外国では JICA と共同して実施している ASEAN 諸国の行政組織の能力向上のための幹部人材育成等実証実験まで行っているものもある。
- ：社会実験的な取組みの開発など、検討してはどうか。
- △：本学の教員がカバーしている範囲はかなり広く、JICA や公的機関等から受託し、SciREX センター等も含め様々なことを実施している。今後も対外的にアピールを行っていきたい。
- ：この重点事項は本会議での議論で文言を修正し得るものか。
- △：本案は学長が決定するものであり、経営協議会において意見を伺っている。指摘のあった点については検討し、修正を行う予定。
- ：プライベートセクターとの共同研究は重要な分野であり、そのような文言を入れることは大事である。
- ：資料 3 に「アジアを中心とした国際的な政策研究のハブとなる」とあり、資料 4 で「アジア・太平洋地域のプレミア・ポリシースクールとしての地位の確立・強化」とあるが、具体的な取組みがあるのか。
- △：アジア・太平洋地域の公共政策大学院等を競争相手として、いかに地位を確立して維持・発展させていくかということを前学長の時代から掲げている。学位プログラムにおける幹部行政官候補生や民間の幹部候補生の教育のほか、既に課長、局長、副大臣級の短期間しか職場を離れることができない者を対象として、短期のエグゼクティブトレーニングを充実させている。これらの取組みを今後も発展させ、地位の確立を目指している。
- ：ポリシースクールとしてのランキングのクライテリアを少なくともアジアをターゲットとして独自に作成するのが良いのではないか。
- ：ランキングについては、角南先生のグループでランキングにも通じうるベンチマークの研究をされている。早い者勝ちの側面もあるので、勉強をしてはどうか。
- △：検討する。

#### 4. 平成 30 年度概算要求について

資料に基づき、中野大学運営局長から、平成 30 年度概算要求について、第 3 期中期目標期間における国立大学法人運営費交付金算定ルール、それを踏まえた本学の機能強化の方向性に応じた重点支援に係る要求の概要、校舎維持管理費概算要求等について説明があり、これを了承した。

#### 5. その他

特になし。

## II. 報告事項

### 1. 第 2 期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果について

資料に基づき、中野大学運営局長から、文部科学省より公表された第 2 期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果について、本学の評価結果及び国立大学法人全体の評価結果の概要等について報告があった。

### 2. GRIPS 基金のクレジットカード受付開始について

資料に基づき、中野大学運営局長から、GRIPS 基金のクレジットカード受付を開始した旨報告があった。

### 3. その他

特になし。

以上